

ASP.NETと合流した Atlasの最新事情

新規Webコンポーネントを試してみる

>>> 葛西 秋雄 KASAI, Akio

はじめに

ASP.NET 2.0のAjaxフレームワークとしてCTP (Community Technology Preview) 版のAtlasが提供されてから数年が経過しますが、2006年10月20日ようやくRTM (Release To Manufacturing) 版のASP.NET AJAX 1.0 Beta

1、そして2006年11月6日にASP.NET AJAX 1.0 Beta2がリリースされました。

本稿では、AJAX RTM版で新規に追加された機能および仕様変更になった点を中心に紹介します。

ASP.NET AJAX 1.0 Beta2

ASP.NET AJAX 1.0 Beta2は「ASP.NET AJAX Extensions」と「Microsoft AJAX Library」から構成されます (図

1)。前者はAtlasのサーバーサイドフレームワーク、後者はAtlasのクライアントサイドフレームワークに対応します。ASP.NET AJAX Extensions (以下ASP.NET AJAX) には、「ScriptManager」「ScriptManagerProxy」「UpdatePanel」「UpdateProgress」、そして「Timer」(AtlasのTimerControl) コントロールなどが含まれます。

Microsoft AJAX Library (以下AJAX Library) は、JavaScriptのライブラリでASP.NET以外の環境でも動作するように設計されています。したがって、PHP、サーバーサイドJavaなどの環境からもAJAX Libraryを利用することが可能です。

AtlasでリリースされていてASP.NET AJAX 1.0 Beta2に組み込まれていないコントロールは、「ASP.NET AJAX Extensions Value-Add CTP」として提供されています。本稿執筆時の最新版は「November CTP」です。このCTPには、「AutoCompleteExtender」「DragOverlayExtender」「PupupExtender」などのコントロールが含まれます。

Atlas Control Toolkitは「ASP.NET AJAX Control Toolkit」としてリリース

レベル >>> Level

1 2 3 4 5

ツール >>> Tool

- Visual Web Developer Express
- ASP.NET AJAX 1.0 Beta2
- Web Development Helper

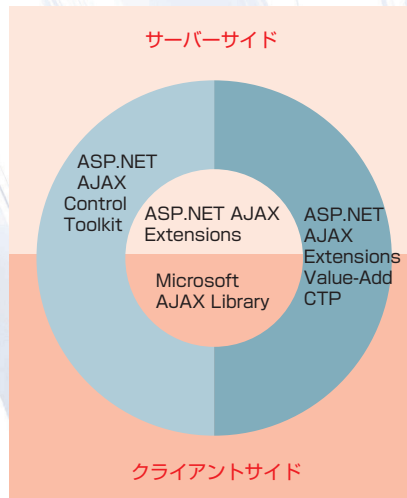
言語 >>> Language

- Visual Basic

サンプル >>> Sample

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、<http://www.shoeisha.com/mag/windev/> からダウンロード可能です。

図1：ASP.NET AJAX 1.0 Beta2の構成



されています。本稿執筆時のAJAX Control Toolkitでは30以上のコントロールがサポートされています。

マスターページ使用時の不具合と回避法

ASP.NET AJAXのBeta2では、マスターページで「ScriptManager」「ScriptManagerProxy」「UpdatePanel」「UpdateProgress」「Timer」コントロールを使用すると、Visual Studio 2005（以下VS2005）のインテリセンスが正常に動作しない不具合があります（図2）。この不具合を回避するには、次の2種類の方法があります。

本稿では②の方法にて回避します。

① マスターページを常時開いた状態でWebページを作成する

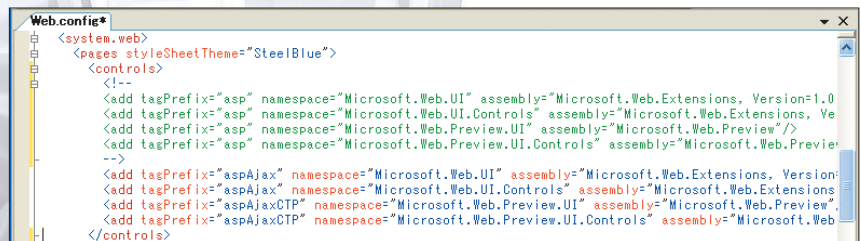
VS2005でWebページを作成、編集するときにマスターページ (.master)を常時開いた状態にします。マスターページがデザイナーに表示された状態で、Webページに<asp:ScriptManagerProxy>、<asp:UpdatePanel>、<asp:UpdateProgress>、<asp:Timer>コントロールを配置すると正常にインテリセンス機能が動作します（ASP.NET AJAXコントロールのプリフィックスは「atlas」から「asp」に変更されました）。マスターページを閉じると、これらのコントロールに「波線」が表示されてインテリセンスが無効になります。ただし、インテリセンスが無効になった状態でも実行は可能です。

② Web.configファイルに宣言されているASP.NET AJAXコントロールのプリフィックスを「asp」以外に変更する

図2：WebページにASP.NET AJAXコントロールを配置するとインテリセンスが無効になる



図3：Web.configファイルのプリフィックスを変更する



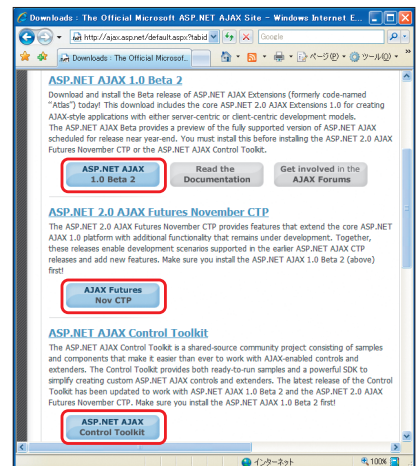
Web.configファイルの<system.Web>セクションの<pages>、<controls>要素に宣言されているプリフィックスを「asp」以外に書き換えます。本稿では、ASP.NET AJAXのコントロールを「aspAjax」、ASP.NET AJAX CTPのコントロールを「aspAjaxCTP」に書き換えています。また、AJAX Control Toolkitのプリフィックスは「ajaxToolkit」としています（図3）。

ASP.NET AJAX 1.0 Beta2のインストール

ASP.NET AJAX 1.0 Beta2は、マイクロソフトのASP.NET AJAXのサイト（http://ajax.asp.net/default.aspx?tabid=47&subtabid=471）からダウンロードすることができます（図4）。

「ASP.NET AJAX」と「AJAX NovCTP」をダウンロードしてインストール

図4：ASP.NET AJAX 1.0 Beta2のダウンロードサイト



すると、VS2005のテンプレートに「ASP.NET AJAX-Enabled Web Site」と「ASP.NET AJAX CTP-Enabled Web Site」のテンプレートが追加されます（図5）。

「AJAX CTP」のコントロールを利用するときは、後者のテンプレートを選択します。新規Webサイトを作成すると、「Bin」フォルダに「Microsoft.Web.Preview.dll」が配置されています。こ